

数列の和の問題

◎ 数列の和

★ 数列の和の問題のアプローチ

1.

2. ①

②

3. 1, 2 以外は、

補足

1 について、

$\sum(k \text{ の } 1 \text{ 次式}) \Rightarrow$ 「等差数列の和の公式」 or 「 Σ 公式」で計算

$\sum r^{(k \text{ の } 1 \text{ 次式})} \Rightarrow$ 「等比数列の和の公式」で計算

2 について

①は代表的なものとして

$\sum \frac{(\text{定数})}{(k \text{ の } 2 \text{ 次式})}, \sum \frac{(\text{定数})}{(k \text{ の } 3 \text{ 次式})} \Rightarrow$ 部分分数分解をして差の形を作る

$\sum(\text{根号}(\sqrt{\quad})\text{を含む式}) \Rightarrow$ 有理化をして差の形を作る

3 について

$\sum(k \text{ の } 2 \text{ 次式}), \sum(k \text{ の } 3 \text{ 次式}) \Rightarrow$ 「 Σ 公式」で計算

ポイント：1, 2, 3 のいずれの場合も数列の一般項（第 n 項）や Σ の後ろに書いてある一般項を見て、判断できるようになるとよい